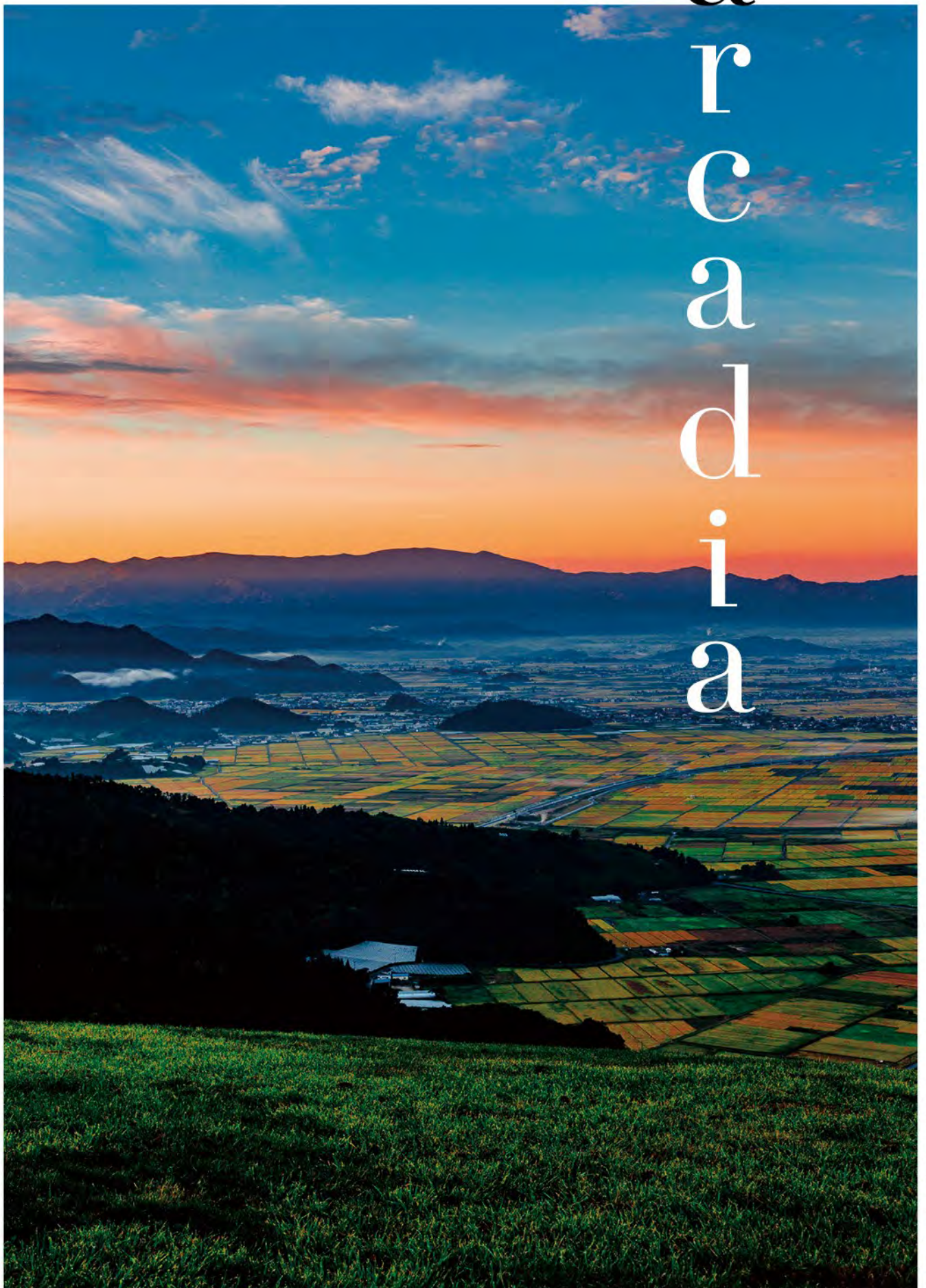


a
r
c
a
d
i
a



やまがたアルカディア観光局とは

(一社)やまがたアルカディア観光局 理事
(戦略会議委員長)

鷺見 孝氏

「日本最強のローカル」置賜。体験と関係性をつくる新たな「観光」を提案

2019年2月に設立した「一般社団法人やまがたアルカディア観光局(理事長 内谷重治)」。なぜいま地域連携が必要なのか、標榜する観光の形と地域の未来についてお話を伺いました。

— やまがたアルカディア観光局設立のメリットは？

山形県内は東根市を除いて人口減少が続いています。昨年の実績で長井、南陽、白鷹、飯豊の4市町で972人減。国の統計で一人当たりの年間消費額が125万円とすると約12億2千万円の消費が減ることになり、地域の商店は疲弊し税収も減ります。地域が消滅してしまう危機感が強まっているものの、1つの町や市でインバウンドや観光消費による地域経済の活性化を目指すには限界があります。そこで置賜地方でまとまって地域の魅力を発掘し磨いて提案していくアイデアが生まれました。観光名所、食べ物、交通エリアな

ど提案できる素材が増えるというメリットがあります。

— これまでにない組織の特性はありますか？
行政がスタートしたプロジェクトですが、民間の知恵とアイデアを持ち込み具体的な数字を見ながら自走できる仕組みをつくろうとしています。行政は構造物、横の連携が取りにくいので、当局では市や町への危機感を背景に持つ人たちが集まる「戦略会議」がブレーンとなり、9つの専門部会を動かしていくことでスピード感を持って推進します。メンバーは30代から40代のバリバリの現役で次世代を担う人たち。誰かが強いリーダーシップを持って進めるというよりは意見を合わせ合議制で決めていくやり方です。

— ミッションやビジョンはどのように？
まさにこのメンバーと、何十時間も頭が燃えるぐらいに議論して生み出しました。専門のライターに頼むよりも地元の人々が悩んで悩んで、考え抜く言葉の方が本物感があるなど



MISSION

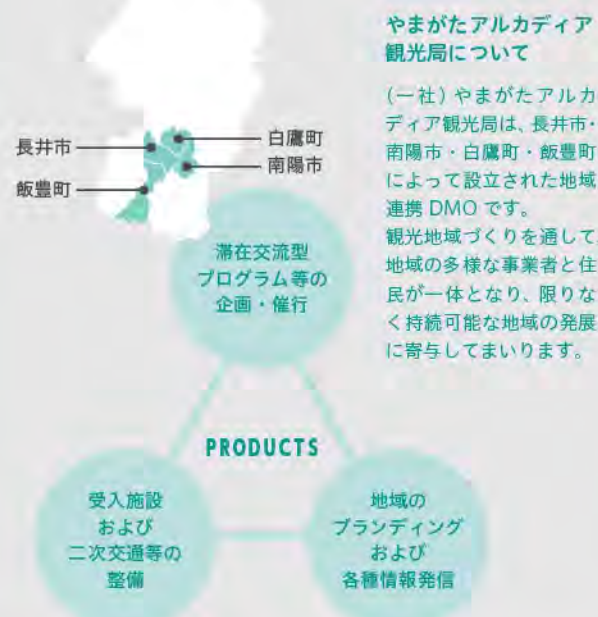
東洋のアルカディアを子どもたちへ

私たちは、この地に住む人、働く人、訪れる人とともに、精神的にも経済的にも幸福度の高い地域をつくりあげ、次世代につないでいきます。

VISION

日本最強のローカル

豊かな風土、持続可能なコミュニティ。
いつでも帰れる、みんなを迎えられる心のふるさとやまがた
緑や花に囲まれた、美しい里山風景。
人々が行き交い、まちは住まう人の笑顔に包まれ、
活気に満ち溢れている。
住む人、働く人、訪れる人は、
「東洋のアルカディア」と呼ばれるこの地に想いを馳せる。
この地に暮らすことを誇り、100年、はるか先まで続く
「日本最強のローカル」を目指す。



PROFILE

鷺見 孝(すみ たかし) 岐阜県出身。商社マンとしてイタリアに6年在住した後、フェラガモ、エルメスジャパンなどの要職を歴任。義母との同居を機に2017年に夫婦で川西町へ移住。『はぎ苑』を営む(株)長井観光の社長に就任。

— 「ご自身が移住者であることや前職での経験は何か作用していますか？」
観光客の目に何がどう映るのか、第三者的な視点で素材を磨くことができると思います。「最強のローカル」なんていうと大上段に感じますが、消費者は自分に必要なものを一瞬で判断するので、とんがらないと選んでもらえません。そのためには地域の魅力を磨き上げ、細かなディテールまでこだわっていく必要がありますが、この2市2町は素晴らしい原石なんじゃないかなと感じています。

INFORMATION

見る・触れる・体験する！

やまがたアルカディア観光局では、置賜地方の豊かな風土と奥深い文化が感じられる、滞在交流型旅行商品を企画・提案しています。「東洋のアルカディア」を体験できる様々なプランをぜひご利用ください。



詳しくは
ツアーHPを
ご覧ください。



一般社団法人 やまがたアルカディア観光局
〒993-0003 山形県長井市東町2番50号
TEL.0238-88-1831 FAX.0238-88-1812
<https://arcadia-kanko.jp/>



公式HP



facebook

熊野

— 東北の伊勢 —

KUMANO TAISHA

大社

皆さんは、「東洋のアルカディア」に住んでいるという実感はあるでしょうか？
実り多く手入れされた大地に、この地で生き生きと暮らす心優しい人々。
この地を構成する全てが、イギリスの旅行作家、イザベラバードの目には
「東洋のアルカディア（桃源郷）」として映りました。
バードがこの地を訪れてから、約140年。
見える景色は変わってしまったけれど、自然や人を大事にしながら暮らす姿は
きっと変わっていないのではないのでしょうか。
私たちは、暮らしていると当たり前になってしまふけれど
大切にしたいこの地域の魅力を、住んでいる皆さんに
実感していただきたいという想いで、
この季刊誌「arcadia（アルカディア）」を創刊しました。
この号が、記念すべき創刊号です。
これから、季節を通して様々に表情を変える、
長井市・南陽市・白鷹町・飯豊町IIアルカディア地域の魅力を
この季刊誌を通して発信していきます。
この地域に住んでいてよかった。そして、日本中、世界中の人に自慢したい。
そんな風に思えるきっかけになれば、うれしく思います。

季刊誌「arcadia」編集部

CONTENTS

- 02 やまがたアルカディア観光局とは
『日本最強のローカル』を目指し、
新しい観光を提案
- 04 特集1 熊野大社
尊崇集める「東北の伊勢」
- 12 特集2 OMIKIプロジェクト
酒造とアーティスト
日本酒プロジェクトが始動
- 16 お店紹介
南陽市宮内・赤湯の食
- 18 2市2町フォトスポットマップ
ファインダー越しに見る
東洋のアルカディア

Cover STORY

早朝4時半、天気予報を入念に確認し家を出た。置賜盆地一面に
広がる雲海を撮影するためだ。高ツムジ山まで登るが雲海が出る
日に見られる霧が頂上付近には無かった。悔しさを抱えながら
十部一山まで下った私の目の前には、置賜盆地一面に秋の実
りと朝焼けが広がっていた。



御由緒ある

東北、熊野の

信仰の拠点

日本三熊野、聖域の一つ

南陽市宮内地区の北端、広大な置賜盆地を見渡すことができる勝地に鎮座しているのが熊野大社です。熊野三山（熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社、各大社）と長野県軽井沢町にある熊野皇大神社、そして南陽市の熊野大社は「日本三熊野」と称され広く信仰を集めてきました。東北随一の歴史と規模を持つ熊野大社ですが、創建



時期の記録は残っていません。いちばん古い記録では、大同元年（806年）平城天皇の勅命により再建されたことが伝えられています。その後も時の天皇、法皇の恩恵をうけ、のちに天台宗・真言宗・羽黒修験・神道の四派も加わり、熊野修験の霊場としても栄えました。熊野大社に伝わる「一山古今日記」には、大旦那として修復にあたった直江兼統の造営の棟札と、伊達政宗の棟札が並べて書き上げられていて、当時の有力者たちが篤く推尊してきたことがわかります。また、青年期まで米沢城で過ごしていた伊達政宗から発給された田地の安堵状も残されています。

最も尊い御神楽

地域の人々の信仰を集めながら、県外からの参拝客も絶えなかったという熊野大社。多くの参拝客の目的は、伊勢の神宮より直伝を許された御神楽「太々神楽」だったそうです。この御神楽は日本最古の最も尊い御神楽とされ、清和天皇の御代から宮中の儀式で舞われていたという「倭舞」と、神楽人の長が舞う「人長舞」は神宮のお祭りでは欠かすことのできないものでした。

この神々しくも華やかな御神楽を、伊勢参りが叶わない東北の人々にも見せられたら、と考えた熊野大社先々代の宮司が神宮に願い、特別に許されたという経緯があります。その伝授は神宮御鎮座以来、初めてのこと。以後、神宮の太々神楽は伝授を禁じられたため、伊勢神宮と熊野大社だけに伝わる御神楽となりました。

現在、熊野大社で奉納している御神楽は6種類。そのうちの4つが伊勢から伝わり、熊野大社参宮がはじまりました。太々神楽を奉納し熊野大神様のお力を頂戴する参宮は最も大切なお祭りで、1月から3月末（新春参宮）と10月、11月（秋参宮）の時期に行われています。



P06上：伊勢の神宮より伝わる御神楽、倭舞（やまとまい） P06右下：南陽の菊祭りでも新たに境内に展示されたフラワーアート P07：伊勢の神宮より伝わる御神楽、人長舞（にんちょうまい）



ご縁を結ばれた神様

お祀りしている御祭神は、熊野夫須美大神と熊野速魂大神。それぞれ、古事記・日本書紀の神話では、伊弉冉尊（いさなのみこと）伊弉諾尊（いさなのみこと）の名で知られる、日本で初めて結ばれた夫婦の神様です。そして二柱の神様の間から生まれた熊野家津御子大神、またの名を素盞鳴尊（すさのなるみこと）が祀られています。熊野大神様は命の源「むすひ」の神様であり、生命を司り、男女の愛によって新しい生命を生み出し命を守ってくれるという御神徳があるとされています。

また、本殿裏には3羽のうさぎが隠し彫りされていて、3羽全てを見つけると願いが叶う、良縁に恵まれる、と言い伝えられています。うさぎは神話のなかで神様同士のご縁を結んだ動物でもあり、熊野大社では月に一度、満月の夜に特別な縁結び祈願祭「月結び」を執り行っています。参列者限定の「たまゆら守」は一つひとつ水引を編んでつくられたお守りで、良縁を運ぶ祈りが込められています。

心のふるさと

本殿の御祭神のほか、広い境内には30柱の神様を祀る様々な社があり、古くから伝わる五穀豊穡や商売繁盛、交通安全、必勝祈願の祭典も伝えられています。毎月1日に行われる月次祭では国家隆昌、地域の安泰と崇敬者の弥栄を祈念。新嘗祭である秋祭ではその年の農作物の収穫を神様に奉告、感謝します。神事のあとは東日本で家庭内祭祀の意味合いが強いとされる「えびす講」のお札を受け、取子祭では生まれた子どもの身柄を神様に預け、神の

思愛守護により無病息災にお守り頂くよう神様に祈誓します。

このように人々の暮らしと深い関係にある祭典が現在まで継承されてきたのは、1200年もの長きにわたり、熊野大社が人々にとって心を寄せる存在であったことを表しています。大鳥居をくぐり、お御坂と呼ばれる46段の石段を上り、茅葺屋根が美しい入母屋造の拝殿を見上げたときに感じる、快い神々しさをどれだけ多くの人々が感じてきたことでしょう。自然と人が紡いだ悠久の歴史に想いを馳せたくなる、そんな空気がここにはあります。

古代の神話を 受け継ぐ

P08上：川中島の合戦後、善光寺如来をお移したときに用いられた仏式神輿 P09上：鎌倉時代に制作とみられる蘭陵王の面



INFORMATION & MAP

宮内熊野大社

〒992-0472 山形県南陽市宮内 3476-1

【山上事務所】※神社のお問い合わせ
TEL 0238-47-7777 FAX 0238-47-3303
E-mail: mail@kumano-taisha.or.jp

【会館 證誠殿】※結婚式・観光等のお問い合わせ
TEL 0238-47-2172 FAX 0238-47-5566



やまがたアルカディア観光局_日帰り旅行プラン



縁結びの神 熊野大社で 巫女体験

「凛として清く、
私は生まれ変わる」



詳しくは
HPをご覧ください。

山形県南陽市にある、縁結びの神様、熊野大社。いにしえよりこの地にある境内には、厳かで澄み切った空気が流れています。凛として清く、美しい立ち振る舞いで、日々神に仕える巫女から所作の教えを乞い、心から新しい自分になれる。地元の食を通して、地元の方とふれあいながら、元気をもらえる。生まれ変わった自分で明日からまたがんばろう。そう思える旅をしてみませんか？



白鷹町 R287 から朝日連峰を眺めると雲が流れ出ていた。

OMIKI ART



Gravityfree
djow 8g

東の麓酒造
杜氏 神理

熊野大社
権禰宜 北野淑人

置賜地方の神社と日本酒、そしてアートが出会う〈OMIKIプロジェクト〉。
第一弾は、南陽市の東の麓酒造が酒をつくり、Gravityfreeがアートラベルを制作します。
おいしい日本酒ができるよう、氏神である熊野大社が豊かに実る稲田でご祈祷し、
Gravityfreeのお二人は、晩秋の南陽市で酒蔵見学と稲刈りを体験しました。



いい酒のために心を向ける

今回のプロジェクトでアートラベルを制作するGravityfreeと熊野大社の権禰宜・北野さんは南陽市宮内にある東の麓酒造を訪れ、明治29年創業の老舗酒蔵、東の麓酒造の伝統的な酒づくりについて理解を深めました。

酒蔵に足を踏み入れ、まず目を引いたのは大きな和釜。釜の中に水を張り蒸気で蒸し上げた米は、そのまま仕込んだり、麴をつくるために使われるといいます。

1.5トンの米を蒸し上げることができる釜の大きさと、年季の入ったかまどには感嘆の声が上がりました。続いて向かったのは仕込蔵。増築を重ねた蔵のなかでも一番古い江戸時代に建てられたという土蔵は、ひんやりとしていて独特の雰囲気があります。ここでは温度管理の仕方や仕込み方などの説明を受け、東の麓酒造の丁寧な酒づくりを感じることができました。

蔵人の高橋さんは先代社長の教えを守り、地元の人を大切にしたいと語ります。「昔から東の麓の酒の味を知っているのは地元の人。晩酌で飲んでも東の麓は美味しいね、と言ってもらえないとだめだと先代に言われました。厳密に言えば、酒の味は毎年変わるんです。

飲む人の心を満たす酒をつくり続ける伝統と革新

でもそこで様々な技術を駆使して、いつもの酒だと思ってもらえるような味をつくるのが私たちの仕事です」。

繊細な手作業と管理が必要な酒づくりで東の麓酒造が大切にしているのは、一つひとつの作業をきっちりやりきり「もういいべは（これくらいいいだろう）」は言わないようにすること。そして高価格帯の大吟醸も上撰・佳撰のお酒も決して手を抜かないということ。妥協しない実直な姿勢が貫かれています。

日本酒の味に沿うアート

見学を終えて、Gravityfreeのお二人は「酒蔵の雰囲気を感じられて良かったです。伝統的なやり方とサーマルタンクを使用した最新のやり方が両方あって刺激を受けました」(8gさん)、「念願の酒蔵見学で聞いてみたかったことが聞けました。東の麓酒造さんの味に沿うような絵を描きたいですね」(djowさん)と意気込みを語りました。





Renscale 2018



asagi/Jan/2018



synchronicity/2019



Fujirockfree 2017

Gravityfree

2人から成る絵画作家。複数単位の感性を軸に、"Gravityfree"という1つの作品を作り出す。音楽シーンに影響を受けて来た彼らの大きな特徴は、計画的かつ即興性の高いペインティングスタイルにある。2002年 音楽が流れる遊び場であるクラブやライブハウスから活動が始まり、見えない空気感や音の気配を可視化しようと試みて来たことが、近年では複数の次元が交差する、抽象具象が折混ざる独自のスタイルへ進化して来た。音楽や絵画、アート全般の根源的な共通点である、贈る側と受け取る側のコミュニケーションを楽しみつつ、FUJI ROCK FESTIVALを初め国内外の様々なシーンでのライブペイントショーや壁画制作など、絵画制作を中心に東京を拠点に創作活動が続けている。

酒と熊野と東の麓

日本酒を神様にお供えし、祭礼の後に神聖な霊気が宿ったお酒を頂く文化があります。神様と同じものを頂くことで神様との親密度を高めるという意味もあり、神事やお祝いのときに登場する日本酒は、日本文化において大きな意味を持っています。昔は全国にある神社でそれぞれに酒をつくり、神様に供えた後、参拝客に振る舞うのが当たり前でした。そのため各神社は神饌田を持ち、地域のひとと共に米づくりから行っていたといえます。明治時代になると近代的な酒税法が導入され、酒類製造免許を有することが難しくなり、多くの神社が日本酒づくりをやめてしまいました。それ以来、神社で振る舞う酒は地元の酒造に依頼し、水と米だけの純米酒（吟醸、大吟醸）を御祈禱して振る舞うやり方が主流になっていきました。そんな歴史の流れのなかで、東の麓酒造は神社で出す日本酒をつくり続けてきました。

権柄宜の北野さんは「神職が祈りを捧げた神饌田の米から日本酒をつくり、年中行事のお祭りの後に皆さんと頂く、というの理想ですね。東の麓酒造さんとGravityfreeさんのアートが組み合わさって、このプロジェクトを通して、日本酒が若い人たちに受け入れられるよう



東の麓酒造有限公司

良質の酒造米と厳しい冬の寒さ、清らかな水にも恵まれた酒づくりに最適の地、置賜。創業以来の古い伝統を守りながらたゆまざる研究を重ねています。

〒992-0472 山形県南陽市宮内2557
TEL:0238-47-5111 FAX:0238-47-2013
<http://www3.omn.ne.jp/~yamaei/index.html>



になれば、米づくり、酒づくりをやってみたいという人も増えていくかもしれません」と、日本文化の再興に期待を寄せています。

神社で分けられた日本酒を頂くタイミングは自由で厳密な決まりはないそうです。いつでもハレの日の気分が味わえる「OMIKIプロジェクト」は、素敵な文化再発見のきっかけになるのではないのでしょうか。

OMIKIプロジェクトについて

私たち山形県 長井市・南陽市・白鷹町・飯豊町が参画する、地域連携DMO(一社)やまがたアルカディア観光局では、東洋のアルカディアと呼ばれる当地域のお土産開発プロジェクトの一環として、日本独自の文化である日本酒を通して世界に当地域を発信すべく、当地域の酒蔵と世界的に著名なグラフィックアーティストがタッグを組み、地域の神社に酒造りの成功をご祈禱していただいた上で、オリジナルの日本酒を開発。観光局のお土産として販売する「OMIKI プロジェクト」を進め、世界に「SAKE」のハイブランドとして「OMIKI」を販売・展開・プロモーションしていくプロジェクトを進めています。

発売日 2020年1月1日(元旦吉日)

やまがたアルカディア観光局ECサイトに4種共に予約受付一斉開始を予定。

ECサイトURL:
<https://tour.arcadia-kanko.jp/>

長井市
長沼合名会社×大友昇平
南陽市
東の麓×Gravityfree
白鷹町
加茂川酒造×Tenhundred
飯豊町
若乃井酒造×DRAGON76



長沼合名会社×大友昇平

惣邑 酒未来 純米大吟醸 斗瓶取り
造りは「長沼合名会社」、ラベルデザインを「大友昇平氏」が行いました。
一升瓶(木箱入り)100本のみの限定販売となります。ラベルの和紙は白鷹町深山和紙の2枚貼りを使用、山形県産の木材を「せせらぎの家」が加工したオリジナル木箱に梱包されています。

スパゲッテリア くれーぷ

Nanyo City

生パスタと
スイーッ
を楽しむ
ランチ



P19 MAP

地域の洋食店としてオープンし、パスタ専門店として長く愛されてきたお店。宮内地区で最初にパスタ料理を始めたというオーナーシェフの本田さんがおすすめするのは、自家製トマトソースを使ったエビとマッシュルームのトマトクリームソース。平日ランチにはパスタ2種の盛り合わせがあるのも嬉しいポイント。ディナーコースでは、季節によって素材が変わる料理もあり、地産ワインとの組み合わせを楽しむことができます。



スパゲッテリア くれーぷ

〒992-0472 山形県南陽市宮内587-3 Tel/0238-45-2903
営業時間 / 11:30-14:00 17:30-21:00
定休日 / 水曜

6DINING TERRACE RUBAN Akayu

Nanyo City

置賜の魅力を引き出し、味わう



P19 MAP

レストランと住宅モデルルーム、家具のセレクトショップが1つになった「テラス・ルバン・アカユ」内にあるレストラン。山形の季節を、春、梅雨、盛夏、秋霖、晩秋、厳冬と捉え、6つの季節ごとに表情を変えていく創作フレンチを通して山形の旬の魅力を発信しています。繊細で感覚的な料理が引き出す、身近でありながら知ることもなかった地域食材のおいしさ。恵み豊かな置賜の魅力に気づかせてくれるレストランです。



6DINING TERRACE RUBAN Akayu

〒999-2211 山形県南陽市赤湯3127-1 Tel/0238-49-7842
営業時間 / 11:00-16:00
(金土のみディナータイム有り 18:00-21:00)
定休日 / 水曜
<http://terrace-ruban.com/6dining/>

マルシチ 遠藤鮮魚店

Nanyo City

季節と風土を感じる
鮮魚と日本酒



P19 MAP

創業から140年続く老舗鮮魚店が提案するのは、昔ながらの「魚屋さん」の存在感と、鮮魚と日本酒の出会いを演出する飲食店のハイブリッド。代々受け継がれてきた鮮魚の知識や調理法を提供し、魚のおいしさを伝えたいという想いから飲食部門を開業。魚を中心としたコース料理と日本酒を合わせる「今しか味わえないおいしさ」は、県外からも注目を集めています。季節と風土を味わう、少し贅沢な時間を過ごせる場所です。



マルシチ遠藤鮮魚店

〒992-0472 山形県南陽市宮内2616 Tel/0238-47-2029
営業時間 / 鮮魚 9:00-18:00
飲食部門 18:30-22:30 (コースのみ、要予約)
定休日 / 毎週日曜 (臨時休あり)
<https://www.endousengyoten.com>

icho cafe

Nanyo City

人々の心が集う小さな居場所



P19 MAP

熊野大社の麓にある売店をリノベーションして生まれた小さなカフェ。少しレトロな雰囲気の内からは、大きなガラス戸越しに大銀杏や参拝へと向かう人々の姿を見ることが出来ます。「境内の雰囲気を感じながらゆっくりと時間を過ごしてほしいです」と語るのは店長の外山さん。ふわふわのフレンチトーストやパスタ、季節の果実を使ったスムージーが人気で、参拝客はもちろん地元の方々からの憩いの場所としても利用されています。



icho cafe (イチョウカフェ)

〒992-0472 山形県南陽市宮内3707-1 熊野大社
Tel/080-5734-0909
営業時間 / 11:00-18:00 (ランチ 11:30-14:00)
定休日 / 火曜 (祝日営業、翌日休み)
<http://ichocafe.com>

市街地エリアMAP



arcadia 季刊誌アルカディア

#01
2019年11月発行
(年4回発行)

発行/一般社団法人 やまがたアルカディア観光局
編集/株式会社 やまがたアルカディア編集社
写真/船山裕紀 文章/上林晃子 デザイン/坂井理枝子

next #02
WINTER issue

特集1_三淵渓谷
特集2_長沼合名会社/大友昇平

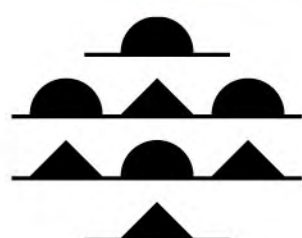


arcadia

photo map

本誌に掲載されている
写真の場所に行ってみませんか？
そしてすこしの間だけ
スマホをしまつて
イザベラバードが感じた
美しい風景を眺めてみてください。





やまがた
アルカディア
観光局

YAMAGATA
ARCADIA
TOURISM BUREAU